

『南ユタ大学短期英語プログラム』を通して

函館校 地域協働専攻国際協働グループ 1年 菊池 峻

私は2014年の8月27日～9月28日の約1か月間、夏季休業を利用してアメリカのユタ州にある南ユタ大学へ、他分校の生徒を含め総勢6名で短期英語研修に行ってきました。自分にとって海外に行くこと自体初めてで、とても楽しみにしていました。しかし、一番の目的は、北海道教育大学在学中に海外の大学へ長期留学を考えている自分にとって、海外がどのような場所でどんな人たちが暮らしているのか、また自分の今の英語力が現地でどれくらい通用するのかを知ることでした。約1か月間という短い時間でしたが、自分にとってはかけがえのない貴重な経験となりました。

プログラムで受講した授業について

自分たちの授業は月曜日から金曜日の平日、午前9時～午後3時の間、一週間で30時間みっちり英語を勉強しました。このプログラムは言うまでもなく「短期英語プログラム」だったので、自分たちの先生とは全て英語でコミュニケーションをとらなければなりません。事前に各分校でテレビ電話を使って開かれたオリエンテーションでは、南ユタ大学の先生にはみっちり指導してもらうように頼んでありますと言われたので、自分としてはとても楽しみでした。

授業は、英語でのリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4要素を、マーケティングについて学びながら鍛えてもらいました。また、YouTubeを使って英語の発音にも力を入れました。

日本で受けてきた英語の授業のように、単語の意味を覚えてテストを行う場合もありましたが、授業のほとんどは自分の考えや意見を言ったり書いたりすることだったので、とても実戦的な内容だったと思います。英語で話すことが恥ずかしかったり失敗するのが怖いと思う人もいますが、それらを気にせず積極的にチャレンジしていくことが大切だと思いました。

南ユタ大学での生活について

今回のプログラムは、南ユタ大学本学から少し離れた小さい建物の中にあるミーティングルームのような部屋でほとんどの授業を行いました。週に一度、本学に行って英語を第二外国語(English as a Second Language)として勉強している世界各国からの留学生と、ランチタイムと一緒に昼食を食べながらいろいろな会話をして楽しみました。留学生は、韓国、中国、サウジアラビアなど主にアジアからの人たちでしたが、自分とは違う国の人たちばかりだったので色々な会話をして楽しみました。その国の挨拶、宗教、天候、自分の専攻など日本とは全く違う文化を知ることが出来て、とても刺激を受けると同時に、

自分の英語がしっかり相手に通じる感動を味わうことが出来ました。また、何より一番うれしかったのはその留学生たちと友達になることが出来たことです。今回の自分の中の目標の中には、外国の友達をたくさん作ることも入っていたので、実行することが出来てとてもうれしかったです。彼らとは今でも Facebook などを通して連絡を取り合っています！

大学のキャンパスは、函館校のそれとは比べ物にならないほど大きく、さすがアメリカの大学といった感じでした。施設や設備が非常に充実していて、それぞれの棟に行くまでに少し歩かなければならなかったのですが、キャンパス内にある木々や花々などが建物と調和していてとても綺麗だったので全く苦ではありませんでした。こんなキャンパスライフを送ってみたいな〜と切実に思いました。

都市の様子と日常生活について

今回自分たちが行ったのは、ユタ州の中でも南にあるシーダーシティという場所でした。事前にユタ州は田舎という情報があったので少し退屈するだろうなと思っていましたがその心配はありませんでした。確かに田舎ではありましたが、街の人たちは皆優しく親切で、誰とでもすぐに打ち解ける印象を持ちました。また、街の雰囲気はとても落ち着いていて、どこか懐かしさを感じました。おしゃれな店がたくさんあり、放課後には、一緒に行った同じ函館校の秋杜君と服屋に行ったり本屋に行ったりして楽しみました。

シーダーシティ周辺は自然公園や溪谷などアメリカ西部ならではの広大な自然を味わえる場所がいくつもあり、自分と秋杜君はそれらすべてを回ることが出来ました。中でも教育大みんなで行ったグランドキャニオンは言葉を失うほどの絶景でした。

今回は、自分と秋杜君は同じステイ先でした。自分たちのホストファミリーは本当に理想的な家族でした。両親は美男美女で子供が 5 人おり、ホストマザーのお腹にはなんと 6 人目の赤ちゃんがいました。マザーの振る舞ってくれた料理はどれも全て美味しく、夕食に関しては、一か月のうちにメニューが被ったのは 2 回でした！！また、ユタ州ではモルモン教というキリスト教の一派が根付いており、コーヒー、たばこ、お茶、お酒が宗教上の理由で禁止になっていました。家族や友達など、人と人との繋がりを非常に大切にしており、家族愛に溢れていました。日曜日の午前中には教会に連れて行ってもらい、夜には「Family Home Evening」という家族会議のようなものにも参加させてもらいました。普段日本にいる間は自分たちの宗教についてあまり考えたことがなかったのですが、これほどまでに自分たちの宗教を大切に、誠実に教えを守りながら毎日を楽しく生活している人たちがいることを知り、とても刺激を受けました。

次の参加者へ伝えたいこと

今回のプログラムを通して、次の参加者へ伝えたいことが 3 つあります。

1 つ目は、海外に行くときには必ずトラブルが付きまとうということです。プログラム費用を自分のクレジットカードで払えず帰国してから海外送金で支払った、予定していたス

ケジュールと違う、言語の壁のせいで伝えたいことがきちんと伝わらないなどなど、こんなことは日常茶飯事でした。自分の中ではミスのない完璧な留学にしようと思っても、こういったトラブルは恐らく避けて通れないでしょう。しかし、そこで落ち込んだり投げやりになってはいけません。なぜなら、それらは待っていても自然に解決するものではなく、自分から臨機応変に行動しなければ何も変わらないからです。ですから、こんなことも起こるんだくらい気持ちで、その状況を楽しむことが大切です。その時は気分が悪くても、自分で行動して対応すれば、後から笑い話になりますよ！！

2つ目は、失敗を恐れずに積極的にチャレンジすることです。せっかく自分の憧れの外国に来たのですから、躊躇しては時間の無駄です！友達を作る、子供たちと遊ぶ、街を散策するなど、やりたいことがあったらとことんやりましょう！また、英語で授業中に発言するときにも、怖がらずに気楽に発言することです。失敗を恐れて発言しないより、失敗したとしてもきちんと自分の意見を伝えた人とは、天と地ほどの差があると思います。なぜなら、質問者が求めているのは、「完璧な答え」ではなく「あなたが持っているあなたにしかない答え」だからです。一回勇気を出して発言すれば、あとは意外とどんどん発言したくなりますよ！

3つ目は、何かしらの目標を持って留学に臨むことです。ただ外国に行って毎日を何となく過ごすのもありますが、それではとてももったいないです。友達を1人作る、日常で使われている挨拶を覚えるなど、どんなことでもいいので目標を持って毎日生活することです。そうすれば、その目標が1つ達成できたら、自分に自信につながりもっともっと毎日が楽しくなりますよ！！

大自然に囲まれた素敵な街シーダーシティで、充実した最高の留学をぜひ経験しましょう！！



とある日曜日にホストファミリーと



修了式にて



グランドキャニオンにて



シーダーシティのメインストリート



仲良くなった同学年の中国人 Lumiao さんと